永末

中国は十年ぶりに全国

国の

政情

院官僚の存在は大きく

っているように思いますが、これ出来ており、軍の中には問題は残

のですけれども、そういう合意が

か行きたいという概定性をもつも

る

僚が、軍事問題を政治的、行政的

に指導する。鄧小平は政治委員の

張できるんだと、

も鄧小平とか、張客権という党官

つゆ失

#### 直体阻局がる航砲の差値

#### い対立構造

急な激化あるまい

日中日沙関係の



の牽制はきわめて活発だ(写真は東脚外務 宮と会う陳楚駐日中国大使

水める場合には反対することに同

したと約束した。中国側は当然

合いに応ずる用意があるのかしょ 合いを求めてくるように思う。 手段について話

## 盟主となるのかる題者ですから、 つまり武力によって諸侯の

間おく対応も

もっているのは当然だ」といって 姫路飛外相が「日本が十分な軍事 る段階にきた。状況がホットなだった罪禍が、今大きい波紋を受け れている。一昨年中国へ行った時 関係ですが、日本では反好親的といの けにしばらく間をおくような対応 が必要なような気もするんです。 いうとニコニコ主義みたいにとら 中ソ外交を慎風に考えて来なか

的に当り、インド、イラク、パン内に当り、インド、イラク、パン中嶋、ソ連は、この集団宏保 その中に一たん概急あれば双方が力条約、平和友好協力という形で する攻勢も非常に激しいものがあ 形の上ではソ連の攻撃のもとに配 協議するという協議条項を入れて グラディシュは友好条約、友好協 政権が承認したわけです。同じ強しない現状固定、それをプラント とすると一体特反になるし、中国 ジア集団公保を日本がもし認める 求している 北方領土の 返避と、ア ジアの現状固定とならざるを得な 想でくるならアジア集団安保はア とも何き合った関係になります。 した観があるわけです。日本に対 もしそうだとすると日本が要

#### 年の八月に行きました。 ころからコントロー 体質を競もよく持 局常任委員ですから、そういうと 今度は軍の総影謀長、党中央政治 くんではないでしょうか。 永末 、この間に起ったわけで 対に行きました。批林批孔 私も一昨年の九月と昨 ルが進んで行

入っているという感じですね。 のかも知れませんが、ま了今の毛 非常に風点があったのではないで 周体制が一応相対的な安定期に **呼にさざ波を立てているのではを** アラブとソ連との間には何か冷た い風が吹いている。 ブ側を支援したにもかかわらず、 そういうものがソ連の酸高盲脳 処するか、 は依然 のデタ 中東口

林批孔運動を起した意図と半年以 味で批林批孔運動が燃えていると は見えなかった。恐らく最初 上たった時期とでは違った意味で 永末 連

原点が中国革命ですが、それは同かれ、その経済をうみ出す政治の に立ち返っての批林批孔運動は主 私の見たところ、革命運動の原点 使われているのではなかろうか。 時に批林批孔なんだという意味に たように政治より経済に国点が欧 問したら出てきて、 たので問題になりましたが、 長が海ニカ月近く リスのウィルソン首相が二月に訪 ソ連のプレジネブ電記

の東方政策に合わせてヨ して浸透してい

ソルジェニツィン事件とか、チェきているのではないでしょうか。 内政的にも問題が出て

政策がインド、パキスタン戦争でたいなものですね。その緊張緩和

ある意味で成功

含でいえばデタントのシンボルみ

ーロッパ政策をやってきた、その しかし相手方のニクソンの退却っ

プラント プラントの失脚、中東戦争でアラ

林批孔よりは批孔批林と孔の方に

に反潮流というのではなくて、

使われているような、

今ある湖流

に、プップ 起した六九年以降のようなブレジ 一時期のよう

リンを提

われるものに対する批判が、クレの側から出ているのではないでしょうか。 化へ向おうとするものがある。そ

いしは建前を、この際もう少れを抑えるようなイデオロギ

パプレジネフ体制に次々に提起さ

しでしょう。 、どうもカゲリがあるというこ 日本でもソルジェニツ

所が出ましたから 致え子もいるん 山版は当然の モスクワ大学には私の い島の完訳が出て反 海外で出ると、地 です。ソルジェニ しとのように行き ルジェニツィン問題をやっているインテリに多いんですが、この点 フにせよ、ソ連知識人の共通性と に救いになる」という見方が、

時代そのものであるという見方で らが批判しようとしたスター は一致していますね。

現在の毛沢栗の中国は、彼

は内心忸怩たる

ますが、アジア全域を覆うものでは、かなり影響力が出て含てい

ものを感じている にも、この問題で 四欧化への衝動が非常に強く、 れなく

ネフの健在性をどうしても感じら なった。ソ連の社会自身、

肝心の米ソ共存体制もこのとこ

、リア開発のアメリカと

いう難かしい問題 とユダヤ人問題と

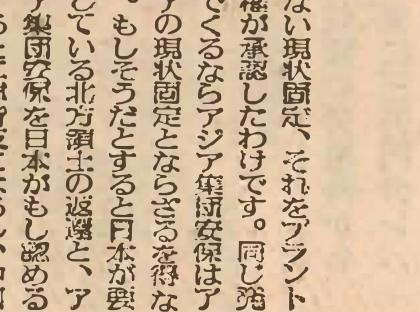
て存在しているサハロフとか、歴

**ウ人強に対する共感にもなってい** 護するあまり「ソ連社会はグメ だ、そのかわり中国は、その問題 日本ではソルジェニツィンを獲

ないと。

それが同時に反体制知識人とし

かかわらず政府のやり方は正しくては評価が分れるんですが、にも





嶋嶺雄



歯科医が患者に説明をして、

そのうえで診療

そこで、本来なら、

歯科診療の差額部分は

すべき性質のものであろう。ここのところを

徴収で まかな うという 考え方は納得できな

いますぐできる解決策の

保険ではダメだから特別診療にしますという

たいということである。

こ。今度の問題を契機にぜひ口腔衛生が活発

感して考えるべきことなのではない

う。国民もおおいに留

率先して口腔衛生に努

してもらいたいと思

日のようにゆさぶっています。

かも、こういった面に

てあわてるという状態で、

歯科医師会こそ、

きことがらである。

の生産高と歯科医療費

ではない。日本の東子

を結の消費量とは無縁

こがそうちがわないと

れたわけです。

日中、日ソ外交を見ていると、

うようなことも含め

おおいに検討すべ

のすべてがそうだとは

国民の歯が悪い原因

わないが、乳幼児の

診療を開始するということである。決して、

のたりない部分を差額

いって、その技術評価

「当然のことを

週刊 民社

圏科診療をしているという実態が現われた以 生省の調査のように、相当数の不正や不当な 助をする人はいるだろう。 に受け止めるべきである。もちろん、 どんな世界でも、不正や不当とみられる行 ことみられる診療をしているのは全体とし 樂団としての歯科医は、この問題を真剣 しかし、さきの原 不正や

って、それらのすべてを国民が理解するとい

。た」ということだが、根本的には、歯科診

が歯科診療では、差額徴収の部分がかなりあい面が多いということがあげられる。 場合は、健康保険証を持って医師のところに 場合は、健康保険証を持って医師のところに の本人である限り、自己負担はない。ところ の本人である限り、自己負担はない。ところに ところに

(第三種郵便物認可)

部分がない。それが、

反して、歯科には薬剤

部分を占めているのに

医科は薬剤が相当

くに点数裏の改定のさ

の結果として、歯科の

技術部分の評価は低

いということにもな

しかし、だからと

あったとすれば、当然

価されるという傾向が

はぼ同じ比率で技術部

激における医者と患者の人間関係がほうかい ている。不満の半分は「高い差額料金をとら

する不満がマスコミで報道されるようになっこの一年ぐらい、急に国民の歯科医にたい

頼を回復する手だてを早急に樹立すべきであ このような事態になった大きな理由のひと

(中医協)で主張すべ それが事実であるとし クな診察はできませんよ」という。たとえ、と、一部の歯科医の中には「健康保険ではロ を患者にいうべきでは いうのなら中央 歯科医は、それ

外に高くとられた」と思うわけである。

それ

ひとつとしては、

健康保険証を持って診療に

簡部分の診療には、

必ず説明をしたうえで、

健康保険の範囲内で診療し、

歯科医の数は

常に少ないのに、

国民の

部の歯科医の中には

きことだと思う。 とも事実であろう。 必ずしも十分に評価さ れていない面があるこ もっとも歯科医の技 保険点数では



歯はものすごく悪い ということである。日本 は、待たされる時間も 各国の三分の二ぐらい 比にしてヨーロッパの 五%が虫歯にかかって 民の歯は七歳で九五・ の腐科医の数は、 いるという深刻な状態 しかいない。 一克

もいえる。 長くなるのは当然だと 国

ずる日本の対処の仕方にも関係が の間に結ぼうとしている平和条 あるんですが、そこを深く考えな いんですね。 ソ連が日本に求めようとして

意味を持ってくるということを予 制権という問題が、これほど後に一も米中コミニュケの段階では、 と伏線を張っており、母近では帝 ですね。ところが中国はチャ 心せずに否んだような気がするん 植民地主義、開権主義と さすがのキッシンジャ

ず。先方から問題を突きつけられ 日本は後手後手に回り、受け身で よっとすると大変な内政問題にな に首相官邸、魔ヶ関、自民党を毎 旬から現在まで、ソ連、中国とも 二つ並べて非常に概念をもたせて ます。日本も大変なツケを回さ 日本の主体性をど 一月中 富士の出版物 FUJI PUBULICATION 保革伯仲から連合時代へ 民社党教宣局長 大内啓伍書 保守単独政権の時代は過ぎ、 連合時代の幕明けがはじまっている。 富士社会教育センター〒105 東京都港区西新橋 2 2 7



はないだろうから、ソ連の意図は とにある」とい 一年で評価は変っているんです 果を撃つとみせかけて西を撃つこ にとえ三倍の力をもってきても恐 ない。きっとはね返してみせ るわけです。二、三年前はソ連がにあり、アジアにあるといってい 戦争をしかけてくることに非常に けないだろうという判断に立った 感はなくなり、ソ連は戦争をしか **脅威があったんですが、その脅威** 

う次元での戦略から、中国が規定 動的な状況の中で、 ような気がするんです。 対時的な戦争、あるいは国境とい している天下大乱という世界の流 ハルな国際戦略の中に、中ソ対立 ということは、中ソ関係を対ソ もっとグロー

変化ではないでしょうか。それが を位置づけて行こうという中国の るんです。 係としてはだんだん固まっている かけて西を撃つというが、 いるならいざ知らず、ちょっと判ように見えます。西に波が立って ッパの安全保障の仕組みは外交関 永末 ただ、東を撃つとみせ 三一口 永末

歴は百万もの軍隊を中ソ国境にお

一昨年行っ

私にア

いている。従って、われわれは深

その間に流動

日本、アジア

断に苦しむところがありますね。 対立としてもっているが、両方と 質的な展開はないわけで、 東がいる間はという感じですね。 なことで持続するんですかね。 もその対立をすぐに激化しようと いう刺激的な態度ではない。そん 国頻確定の話合いも实 当分は現状固定、毛沢 対立は

な好条約の締結が問題について合 な好条約の締結が問題になってい ます。田中
筋中の時の日中
共同声 というでは、日中
平和 が覇権に対する項目を入れろと要日中平和友好条約の中に、中国側

容秋の五網とか、 顕者というよう がモニーという 歴味と違って、 に王道をゆくのではなく、 顕者というよう

中に覇権という字を入れたのは、 悩崩に同激したらしいんですね。 どうするかということですね。 アメリカもいったからというので にも関係のあることだし、ソ連と 刷幅に同意すれば、日米安保条約 田中首相が共同声明の

世界大戦の結果 いうんです。今年、 / 連の安全保障の作り方は第二次

えてくる。攻勢をかけられる体質 て平和友好条約をいい、ソ選は北らず、中国は実務協定をさておい 辺で日本外交を根本的に考え度す に関写するものでないにもかかわ 有難うございました。

# そういう何勢をふまえ

### 変化ない対立構

だが早急な激化あるまし

ソ連は東に声をあげ西を撃 をめぐる中ソの激しい外交攻勢<br />
に

次官と会う陳楚駐日中国大使

その反対の方法、手段について話

中国が十分にらんで使ってきた。

七三年になると「深く地下道を

制というソ連の新しい戦略展開を

激したと約束した。

中国側は当然

求める場合には反対することに回

ドクトリンなり、アジア集団状況

ーズ・アップされたプレジネフ

七〇年代のはじめからク

くは第三国の集団に対して樹梢を

相に「日中共同声明で第三国もし

私は衆議院外粉委員会で宮沢外でいると伝えられています。

するんだということです。という

けにしばらく間をおくような対応
る段階にきた。状況がホットなだ

が必要なような気もするんです。

#### きりするんじゃないかと思いま ア、日本などをふくめた西側とい 期権主義、それから西欧諸国とソ ワルシャワ条約機構体制のソ連の 中国としては、ヨーロッパの この中にはアジ 割合はっ 日中

#### 平和条約の、第三国覇権、

その用意をしておりません」とい 当然だと思いますがね。 運総会の衝冠華演説の中に、一、一月、中国がはじめて参加した国 の調べたところでは一九七一年十 則的に特出すとは予想していなか うのが一月下旬の話です。 合いに応ずる用意があるのか」と 合いを求めてくるように思う。 脳椎とか、 覇極主義というのは、 私 聞くと「非常に強かしい問題で、 一の超大国の覇権主義と強権政治 たんではないでしょうか。この 中国が顕微問題をこれほど原 外務当局、事務レベル

では何とアメリカも、これに合意

しかも七二年の上海コミニュケ

し日本も同意している。日中関係

世界戦略ということになります。

と同時に中国自身で公式化された

的展開に対する中国の戦略である

り入れられた。これはソ連の戦略

問題の焦点はヨーロッパ

なっているんですね。

漠を越えたんですが、モンゴル側

北京まで汽車で三日間、ゴビの砂

う意味だと解釈すれば、

今回ウラン

連兵がいるんです。中国側に来る

あれほどいわれた生産建設兵

団とか辺境の人民解放軍はまった

運の関係にもクサビを打ち込みた

いということでしょう。

く見えない。実にのんびりしてい

はいたるところに基地があり、ソ

徴は天下大乱であるという規定を 元旦社説で、 いるわけです。その後、七二年の に反対するという言葉が出てきて 現在の世界情勢の特 から当然ではないかと中国が主張 うすでに日本でいっていることだを共同西明の線で排する限り、も

さてそこで、共同声明ならとも

に日本がはまりこむことですから のかどうかということと、それがかく、条約の中に入れるのがいい びしい状況の中で、それを吞むこ 今日のように日中、 明らかにソ連を感凶するもので、 ある意味で中国の戦略の中 日ソ関係のき

**カ末**中国の戦権とウラハラ ですね。大平外相時代に「アジアしているアジア集団安保への参加 すね。ただ、ヨーロッパにおけるソした時、ソ進からいわれていま と「問いたことがありません」と 集団安保をどう考えるか」ときく 宮沢外相が訪

好視哲条約も、いずれも曲段りよ中嶋。日中平和友好条約も友 もので、それによって急激に国益好貌落条約も、いずれも抽象的な



か、結論としてどうでしょう。

恩来取ら、脱脊橋報告といたると

ころに出ており、

憲法の中にもと

**新しい指示として随所に出てくる** 

掘り、至るところで食機を貯え、

調権を求めない」という毛沢東の

しばらく間おく対応 認めたとか、

れている。 一昨年中国へ行った時 地ののは当然だ」といって がののは当然だ」といって がののは当然だ」といって 日本外交は正念場に立っている。 机条約は結ばないなどとはいわな いうとニコニコ主義みたいにとら 約はそのままで日中は自由な関係 くなった。だからといって安保条 といって、中国は日米交別条例をリしたんですが、そういったから が結ばれ、日中はどうあろうと日 一緒に行った社会党議員はピック ソは自由な関係を結ばれるという 永末 外国軍隊を撤退しなければ平 外交はツパ競り合いの ソ連も一九七二年以 日本では友好親判と